

町田市民文学館ことばらんの存続を求める請願

<請願要旨>

町田市民文学館ことばらんど(以下「文学館」)は、貴重な文化財としての文学資料を後世に伝えると共に、町田市の新たな魅力の創出や地域振興等を意図して2006年10月に設置され、昨年10周年を迎えました。この間、著名な作家を取り上げた展覧会や各種催しを通じて、2015年8月には来館者50万人を達成し、地域の活性化にも大きく貢献してきました。

また、開館以来毎年秋に、地域のシンボルである文学館を盛り立てるために、地元町内会や商店会が協力して「文学館まつり」を開催するなど、地域住民の交流拠点としても重要な役割を果たしています。

ところが、本年2月に公表された「町田市5ヶ年計画17-21」では、文学館について2017年度、18年度でその存廃を決定するとされています。現在、策定が進められている「公共施設再編計画」でも、他の施設との集約化による文学館等の廃止の可能性が示唆されています。

少子高齢化や人口減少による厳しい財政事情は理解できますが、ようやくその活動が軌道に乗り、町田ならではの魅力・文化の発信拠点として、これから地域と共にさらに一步を踏み出そうとしている矢先に、このような計画が示されたことに、大きな衝撃と深い危惧の念を抱かざるを得ません。

町田の文学館は、子どもたちが社会を生き抜く上で必要な言葉の力を獲得するために、そして、今後ますます進行する高齢化社会にあって、多くの市民が生き甲斐をもって豊かに暮らしていくためにも、大きな役割を担うことができる施設です。これらのことを踏まえ、文学館が地域と共にいっそう発展することを願って、次の項目を実施されるよう請願します。

<請願項目>

町田市民文学館ことばらんどを、今後も現在の場所に存続させること